

第6回心療内科専門医申請書類 一記入上の注意一

- 1) 申請にあたっては、「心療内科専門医制度規程」及び「心療内科専門医制度移行規程」をご熟読ください。
(日本心身医学会・日本心療内科学会ホームページ(会員サイト)及び学会誌に掲載)
- 2) 申請書記入は、パソコン入力が見たいですが、不可能な場合は楷書体でわかりやすく記載してください。
- 3) 年月日は西暦に統一してください。
- 4) 申請者署名となっている欄には、必ず自署をお願いします。
- 5) 全項目に漏れないように記入してください。
- 6) 提出の際、必ずコピー1部を手元に保管してください。(特に症例サマリーと症例一覧は、面接・口頭試問審査の際、申請者本人用として使用します。)

●申請書類の提出期間について

*【様式①-1、①-2】…………… < 6月10日(金)消印有効 >

*【様式④-1、④-2】、【研修証明書】、【その他の必要書類】…………… < 8月31日(水)消印有効 >

【様式①-1】 認定申請書

- ①勤務先名欄は、略さず、正式名称をご記入ください。
- ②写真貼付：5×4cm 白黒、カラー何れも可 撮影後3ヶ月以内 正面、脱帽、上半身のもの

【様式①-2】 職歴・研修歴

- ①卒後研修から申請時までの職歴・研修歴をご記入下さい。

【様式②】 発表学術論文 *緩和措置により、提出不要

- ①心療内科臨床や心身医学に関する学術論文(単なる連名者でないこと)を3編以上(できるだけ最近のものから選ぶこと)記載すること。
- ②1枚に書ききれない時は本紙をコピーして記載すること。

【様式③】 学会発表目録 *緩和措置により、提出不要

- ①心療内科臨床や心身医学に関する学会発表(単なる連名者でないこと)を3回以上(できるだけ最近のものから選ぶこと)記載すること。
- ②1枚に書ききれない時は本紙をコピーして記載すること。

【様式④-1】 症例一覧表

- ①申請者が心療内科的治療を行った内科系疾患30症例について記載してください。
- ②特定の疾患領域に偏らないよう症例を選択して記載してください。
- ③症例番号は、申請に必要な30例まで印刷済みとなっています。不足しないようご注意ください。
- ④指導医名は研修指導医(心療内科資格者)の名前を記入してください。
- ⑤治療期間は西暦で記入し、外来回数も明記して下さい。
- ⑥診断名は簡潔に記入してください。心身症に該当する場合は、身体疾患名(心身症)と明記してください。
- ⑦申請者氏名は、各頁にご記入ください。
- ⑧必ず指導医(心療内科専門医)に提示し、6頁目の所定欄に署名と捺印をいただいでください。

【様式④-2】 症例サマリー

- ①症例サマリーは5症例必要です。様式④-1の症例一覧表に書かれていない症例でも記載可能です。
- ②治療期間は西暦で記入し、通院回数も記載して下さい。
- ③心療内科的医療に関する考察が重要視されます。
- ④特定の疾患領域に偏らないように症例を選択して記載してください。
- ⑤症例サマリー用紙記載例をよく読んで記入して下さい。
- ⑥必ず指導医(心療内科専門医)に提示し、各症例の所定欄に署名と捺印をいただいでください。

【研修証明書】

- ①研修施設が2か所以上の場合は、本紙を必要枚数コピーして使用すること。

【その他の必要書類】

- ①日本内科学会認定内科医あるいは総合内科専門医 認定証(写)
*2022年度受験予定の場合も申請可とします。
- ②日本心身医学会主催心身医学会主催受講証コピー*¹⁾、または日本心療内科学会の登録医認定証のコピー
*¹⁾*受講してなくても申請可。ただし、なるべく早い時期に受講していただくことが条件となります。
- ③審査料(33,000円)の払い込みを証明する書類(写)